

# 東邦大学医療センター大森病院

## からだのとしょしつ

### だより

16号 2015/2/16



【資料の紹介】 おすすめの一冊

#### メモするだけでラクになる「がん手帳」のつけ方

相羽恵介（東京慈恵会医科大学腫瘍・血液内科）著  
WAVE 出版 2014 A5版 143頁

- 抗がん剤治療中の方と再発の不安を抱えている方に、日々の治療や生活を少しでもラクに、無理なく過ごす具体的な習慣として「手帳をつけてみよう」という腫瘍・血液内科医からの提案。
- 手帳が患者さんと医療者の「絆」になることを願って、医師が書き方のポイントを教えてください。
- 使う手帳はどれでもよいので、市販の手帳の中から好きなものを選び購入して使います。

## ＊ ＊ 院内を見学しました ＊ ＊

大森病院ボランティア研修：院内見学報告

「からだのとしょしつ」ボランティア上野恵子

2014年11月21日の午後14:00から約1時間、「からだのとしょしつ」ボランティア7名ほか、ボランティアコーディネイト委員会の専任委員の案内で院内を見学しました。見学の目的は、院内見学を通して病院をより深く知り、日頃のボランティア活動に役立てるためです。

見学当日は、5号館3階のボランティアルームに集合して、見学コースの説明を受けたあとスタートしました。まず2階の臨床検査室に行きました。ここでは、血液や痰などの検査をしており、毎日たくさんの検体が10-15分間隔で透明なケースを通して送られてくるそうです。

ここから地下2階に下り、連絡通路ガレリアを通過して3号館地下1階へ。3号館の内装は癒し系のオレンジ色を基調にしているそうで、全体に柔らかな印象です。

まず6階の特別病棟へ行きました。6階はすべて個室です。この階は入院されている方のお名前は外に掲示せず、IDで入室することです。お部屋には大きなTV、PC、キッチン、お風呂が付いていてまるでホテルの1室のようでした。ダイニングや中庭もあり、素晴らしい環境で病氣も早く良くなりそうです。

次は3階の手術室へ。中には入れませんが医師や看護師さん達の緊張した様子が伝わってきます。みなさんカラフルな手術着を着ていて、患者さんを少しでもリラックスさせようと

いう心使いが感じられました。

その後は2階の救命センターへ。2階には1号館から3号館までをつなぐ連絡通路があるのでそこを歩いて1号館へ行き、3階の化学療法室を見学しました。ふたたび3号館に戻り、守衛室、初療室、CT検査室、総合診療科やMRIを見学しました。地下では、ふだん見ることのない霊安室、情報管理室も見学しました。

途中、2階の吹き抜けから見下ろした3号館1階ロビーは、ガラス張りでの外の景色もよく見え、開放的で快適そうでした。ここではコンサートも年4回開かれているそうです。そしてボランティアルームに戻りました。

病院内のあまりの広さに、まだまだ院内を覚えきれていないことを痛感しましたが、毎日効率的に患者さんのために病院が機能している事が実感された一日でした。お仕事中にもかかわらず笑顔で迎えてくださったり、丁寧に説明して下さったりと、親切に対応して下さったスタッフの皆様に感謝します。ありがとうございました。



#### ◆なのはな文庫のご案内◆

◇毎週火曜日の午後、病棟のデイルームや外来待合エリアなどを巡回して、本棚の本の整理をしたり、新しい本を補充するボランティア活動です。

◇一人でも多くの患者さんに、本を読まれることで日々の時間に安らぎと癒しを感じて頂けたらと思って活動しています。

◇なのはな文庫の活動は、からだのとしょじつボランティア活動の一環としておこなわれています。

◇医学情報が欲しいときは、からだのとしょじつ、医学書でない、ふつうの本が読みたいときは、なのはな文庫をご利用ください。

#### ◆囲碁・将棋のお相手◆

◇入院患者さんの囲碁・将棋のお相手をするボランティアグループです。

◇対局を希望される患者さんは、病棟師長にお申し出ください。

\*\*\*\*\*

編集・発行：からだのとしょじつ

東邦大学医療センター大森病院 2号館 3階

開室日時：9:30-16:30 第3土・日・祝日、年末年始はお休みです。

WEB版「からだのとしょじつ」でも資料と探し方のご案内をしています。

<http://www.mnc.toho-u.ac.jp/mmc/karada/>